

OLC オアシスライフ・ケア

私たちは、2011年3月11日の東日本大震災を機に
オアシスチャペル利府キリスト教会によって設立された非営利のボランティアグループです。

※法人設立準備中

目次

代表メッセージ

松田牧人 代表(オアシスチャペル利府キリスト教会・牧師)からの挨拶です。

ページ 1

活動報告

私たちが行っている様々な活動を紹介します。

ページ 2-3



団体情報

スタッフや協力団体の紹介、また支援のお願いについて記しました。

ページ 4



代表メッセージ

記憶を 風化させない

今年の3月11日は、東松島市のある地区の方々と一緒に過ごさせていただきました。津波によって全てが流されてしまった地区を前に、冷たい風が吹く中で200名ほどの人々が集まったのでしょうか。しばらくの時間、その場で追悼のセレモニーが行われました。震災で幼い弟を失った若者の叩く和太鼓の音を聞きながら、「あれから二年か、二年か…」と私は心の中で何度もつぶやきました。

無惨な姿で残っていた家屋もほとんど取り壊され、今では土台さえありません。まるでずっと前から空き地であったように見えます。しかし、地元の方は「元々何も無いんじゃないよ。全部津波に持って行かれたんだ！ここにはいっぱい家があったんだ！人々の暮らしがあったん



どうか、平和の主ご自身が、どんな場合にも、いつも、あなたがたに平和を与えてくださいますように。どうか、主があなたがたすべてと、ともにおられますように。

新約聖書・テサロニケ人への手紙より

だ！」と涙ぐみながら語ります。胸が詰まりました。“たった二年”でこの痛みが癒えるはずがない…。絶対に記憶を風化させてはいけない…。改めて強くそう思わされた瞬間でした。

現在、オアシスライフ・ケア(以下OLC)では、震災の痛みを乗り越えるプロセスに少しでも寄り添い続けるため、教育支援(Kids JOYnt)や音楽による励まし、創造的なレクリエーション企画に力を入れています。また、有り難いことに「SHIZU革」の内職支援商品も多くの方々がお求めくださっています。さらに、被災した多くの方々の「震災について知ってほしい」「被災地を訪ねてほしい」という声に答えて、被災地への研修ツアーも企画していきます。これをお読みくださっている皆さんも、ぜひ参加をご検討ください。皆様のご支援に心から感謝いたします！

オアシスライフ・ケア 代表 松田牧人

内職志援プロジェクト SHIZU革

SHIZU革はまだまだ続きます！

2011年11月から始まったSHIZU革プロジェクトを通して、志津川の製作者の方々に340万円程のお手当てを支給することができました。無償提供の原材料費は440万円程です。また、製作者の方々の技術もこだわりも格段に向上し、生き甲斐となりつつあることも感謝です。製作個数は間もなく10,000個に達します。口数が少なかった方もかなり打ち解けてきて、楽しそうに会話に加わっています。昨年末に実施したアンケートにおいては、製作者全員が「今後もSHIZU革を続けたい！」と希望してくださいました。SHIZU革の目的は「収入」「生きがい」「語り合う場」の創出です。多くの方々のご支援の下、それぞれで一定の成果があったと振り返ることができます。心より感謝申し上げます。新年度は益々の発展を願います。革問屋さんの協力を得て、仮設住まいの方々（現製作者以外の方々）に内職を提供することが決まっています。また、国内外での販売機会も増やしていく予定です。培った技術を活かして新商品も開発します。さらに、「風化させない」ことをプロジェクトの目的に追加し、SHIZU革を活かして震災を覚えていただくことに取り組んでいきます。SHIZU革が驚のように力強く羽ばたきますように！これからも「ご志援」をお願いいたします。



あったか支援（石巻市・寄磯浜）

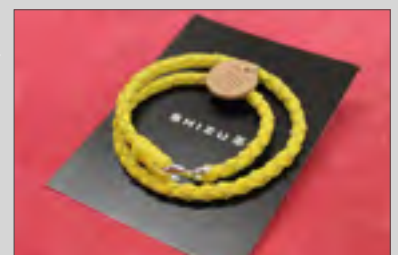
たくさんのご協力、ありがとうございます！

冬の間も石巻市・寄磯浜での活動を行うことが出来ました。去年に引き続き、厳しい寒さを乗り越えるための灯油支援、また、漁業復興まで満足な収入を得られないの方々のための物資支援を行いました。ただ灯油や物資を届けるだけでなく、震災によって物心両面に痛みを抱えている人々・地域に励ましを届けるためのイベントも企画しました。地域全体の方々をお招きし、ゴスペルコンサートや運動会、郷土料理づくりを、一緒に楽しく開催し、交流を深めました。これらの活動を、協力団体である海友支援隊さん、ホープみやぎさん、また、香港にあるIsland Evangelical Community Churchさん、そして、たくさんの方々がサポートしてくださいました。心から感謝いたします！



メルセデス・ベンツ日本株式会社 様のご協力

メルセデス・ベンツ日本株式会社様（以下、メルセデス・ベンツ日本）のご協力の下、3月下旬に開催されたMercedes-Benz Fashion Week TOKYO（メルセデス・ベンツ ファッション・ウィーク東京／以下、MBFWT）にて、関係者向け記念品の一つとしてSHIZU革が配布されました！！MBFWTオリジナルのタグが付いた限定品です。メルセデス・ベンツ日本は、震災直後から継続的に復興支援に努めておられる企業の一つです。SHIZU革へのご協力も含め心より感謝申し上げます。イエローが与える印象の様に、明るく・躍動し・希望ある新年度となることを願います。SHIZU革が驚のごとく力強く羽ばたきますように！



来てけさいんツアー

被災地スタディツアーを実施します！

OLCでは、今年度から新しく被災地スタディツアー「来てけさいんツアー」を実施します。このツアーは、被災地の外に住んでいる方々に被災地を支援していただくための「新しいかたち」を提供することを目指しています。

被災地の方々の必要をお伺いすると、この頃は「足を運んでほしい」「活気を取り戻したい(お金を使ってほしい)」「忘れないでほしい(被災地の「今」を伝えたい)」という声が増えてきました。被災地を訪問すること、現状を見て人々の話を聞くことは、これからの被災地を支える大きな支援になります。

「行きたいと思っていたけれど、チャンスやツテがなかった」「被災地を訪問することは迷惑や失礼になるのではないか」「泥かきなどの重労働はできないので、お役に立てないと思う…」といった理由から、思いを持ちながらも訪問を断念していたという方々がおられると思います。ぜひこの機会にツアーにご参加ください(詳しい情報はWebサイトでもご覧いただけます)。

「来てけさいん」は、親しみを込めて「ぜひ来てください」とお誘いする東北の方言です。「東北」は、みなさんのお越しを温かくお待ちしております。



インターナショナルキャンプ

絆を築く取り組み

OLCでは、地域を越えて子どもたちが絆を育むプロジェクト「Kids JOYnt」を行っています。今年の夏は、海外の若者たちと被災地の子ども・若者たちが出会うインターナショナルキャンプを計画しています。オアシスチャペル(OLCの母体となる教会)と友好関係を結んでいるアメリカ・カリフォルニア州のガーディナ平原バプテスト教会から若者たちを招き、被災地の子ども・若者たちを対象に、英語を学びながら楽しく交流を深める機会にしたいと考えています。

被災した沿岸部の高齢化は深刻な課題になっています。地域の方々は、地元で生まれ、これから育っていく子どもたち、若者たちに大きな期待を寄せています。このキャンプを通して、子どもたちがこれからの時代を生き抜くための力や視野を身につけるきっかけとなりますように！また、国境を越えて、復興に繋がる強い絆が育まれていきますように！

- ・日 程：2013年8月16日(金)～18日(日)
- ・対 象：小学生以上

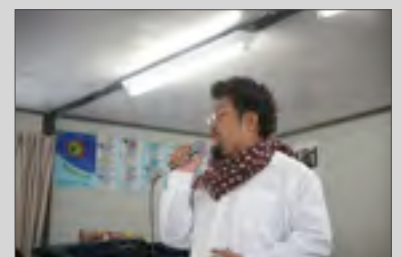
※その他の詳しい情報についてはWebサイトなどで追ってご案内いたします。



絆

KEN MATSUDA、アメリカへ！

昨年の夏に京都で開催された復興支援イベント「洛都祭」を通して出会ったミラクルズクワイア(京都中央チャペル)とともに渡米し、アメリカ・ナッシュビルで活躍するクライストチャーチクワイアとのジョイントコンサートに出演させていただくことになりました(5月初旬)。コンサートの中でOLCスタッフでゴスペルシンガーの私、KEN MATSUDAが被災地の現状を報告し、ゴスペルを歌わせていただく予定です。震災から2年という月日が経っても、海外で、日本・東北をおぼえてこのようなイベントを開催していただけることは、私たちにとって大きな励みになります。ぜひコンサートの成功をお祈りください。それでは、恵みの報告を楽しみにお待ちしております！(KEN)



ご協力のお願ひ

皆様からのご支援・ご協力を心から感謝申し上げます。本レポートに2012年度の会計報告を同封致しましたので、どうぞご覧ください。私たちは今後も、復興のために、長く、効果的な働きを続けていきたいと願っています。引き続きご協力をよろしくお願ひ致します。

支援金窓口

《三菱東京UFJ銀行》

支店名：仙台支店 口座番号：普通 0242364
口座名：オアシスライフ・ケア 代表 松田牧人

《ゆうちょ銀行》

- ・他金融機関より
店名：八一八（読み ハチイチハチ）
口座番号：普通 4130375
口座名：オアシスライフ・ケア
- ・ゆうちょ銀行より
記号：18110 番号：41303751
口座名：オアシスライフ・ケア

※ 定期的に発行しているニュースレターをご所望の方は、お手数ですが当方までご連絡ください。

※ 過去の活動レポートは当方のウェブサイトで閲覧いただけます。

(<http://oasislifecare.org>)

関連情報

スタッフ

松田牧人（代表・オアシスチャペル利府キリスト教会 牧師）
郡山英明（専任・会計 担当）
國分圭介（専任・SHIZU革、南三陸町 担当）
菊地祥彦（石巻市 担当）
松田 献（ゴスペル、東松島市 担当）
三浦良太（森郷キャンプ場 担当）

連絡先

事務所：宮城県宮城郡利府町中央2-5-1（利府キリスト教会内）
TEL&FAX：022-356-2494（利府キリスト教会と兼用）
※SHIZU革に関するお問い合わせは 022-356-9443 へ
E-mail：info@oasislifecare.org

Webサイト

Webページ：<http://oasislifecare.org>
Facebookページ：<http://www.facebook.com/OasisLifeCARE>
Twitter：<http://twitter.com/#!/OasisLifeCARE>

賛同者

尾山清仁・キャシー（聖書キリスト教会東京教会・牧師）
加賀洋子（ASKアカデミー・ジャパン株式会社 CEO）
葛西浩二（有限会社テレビジョンワークス・代表取締役）
Kaz Kato（ミュージシャン）
郡山榮次郎（心療内科医）
後藤献児朗（有限会社サーブ介護センター 代表取締役）
篠田真宏（ゴールデンルールリミテッド・代表）
ジェイソン・エワート（作家・Australian of the Year nominee 2007）
中村佐知（翻訳者／心理学者〈Ph.D.〉／JCFN理事）
日野 哲（東北学院大学・総務部長）
広崎仁一（ヒューサーブ代表）
藤掛 明（聖学院大学総合研究所・准教授／臨床心理士）
藤原淳彦（聖学院大学総合研究所・教授／恵約宣教教会・牧師）
松田和憲（関東学院大学工学部・教授／関東学院教会・牧師）
渡邊忠雄（元 東北大学大学院工学研究科・教授／中国〈瀋陽〉東北大学・客員教授）

協力団体

一般社団法人 海友支援隊 www.kinka-hoya.com
一般社団法人 CRASH Japan www.crashjapan.com
一般社団法人 サマリタンズパース www.samaritanspurse.jp
NPO法人 スマイル合唱団 smile-chorus-npo.org
宗教法人 日本バプテスト同盟 www.jbu.or.jp
聖書キリスト教会東京教会 seishokirisuto.com
Bridges For Peace JAPAN www.bfpj.org
ホープみやぎ www.hopemiyagi.org

※50音順／敬称略／2013年4月16日現在